

No.727 June 2017

ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報 あさひまち

菜の花の迷路を

探検だ！

2017

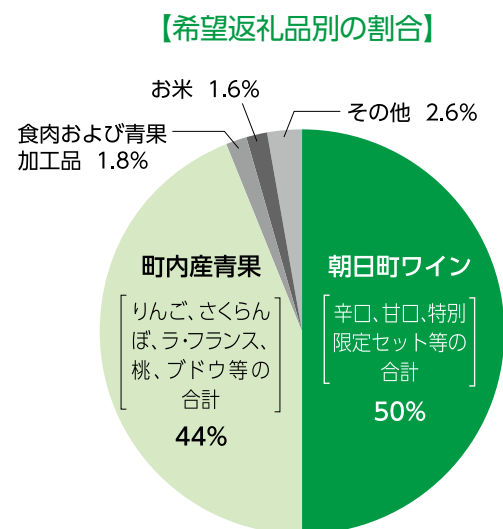
6

No.727



平成 28 年度

朝日町ふるさと納税寄付 実績を報告します



【使い道別の寄付件数と金額】

使い道	件数 (件)	金額 (万円)
町長におまかせ	3,191	3,688
たくましい朝日っ子育成	2,618	2,922
日本一りんごの里づくり	1,316	1,436
空気澄むふるさとづくり	949	1,051
みんな温か交流・観光	492	538
みんな達者でにこにこ元気	410	465
支えあう集落元気	377	421
記入なし	6	9
合計	9,359	10,530

(政策推進課まとめ)

9,359 件

総額 1 億 530 万円

昨年度朝日町へ寄せられたふるさと納税寄付は9,359件(前年度比1.2倍)で、寄付総額は1億530万円(前年度比1.3倍)となりました。寄付者が希望する寄付金の使い道で最も多かったのは「町長におまかせ」事業(368万円)、次いで「たくましい朝日っ子育成」(292万円)、「日本一りんごの里づくり」(1436万円)が続きます。子育て支援や町農産業に関心が高いことがうかがえます。

返礼品の割合では、ワインが50%、りんご他、さくらんぼやラ・フランスなどの町内産青果が44%、食肉および青果加工品が1.8%、米が1.6%と約98%を農産物が占めます。

「今年度も、寄付金の使い道についてより具体的な施策を発信するなど、特産品のみならず町自体への関心を深めてもらう取り組みを継続します」と、業務を担当する政策推進課の三浦浩一課長。「町の課題を寄付者とともに解決し、思いを形にする」ことで『選ばれる』町を目指したい」と今後の運営方針を示しました。

【ふるさと納税に関する問合せ先】 政策推進課 ブランド推進係 ☎67-2112

目次 CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
平成 28 年度 朝日町ふるさと納税寄付実績を報告します
- P4 特集
山の恵みをいただきます！
- P 8 町政スポット
・朝日町ごとサポート連携協議会「しごと相談窓口」を開設しました
・やまがた絆の森プロジェクト「ニッサンの森」(白倉) 開山式
・朝日中学校 1 年生「朝日探求の日」
- P10 6月5日は朝日町空気の日
- P12 まちレポ
・町小学校陸上競技記録会
・古民家カフェ「すんたく」オープン
・モンテディオ山形朝日町民応援デー ほか
- P14 6総策定町民ワークショップふりかえり新聞
- P16 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策、それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 町民の声、「自分を励ます絵手紙」第3集と「句集ともしび」を出版
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、町の主な行事・イベント
- P20 白熱！西五百川小すもう大会

表紙の写真



5月23日、あさひ保育園の園児たちが水本の菜の花畑を訪問し、菜の花の迷路を探検しました。この菜の花畑は、毎年「水本菜の花協議会(岡崎吉博代表)」の皆さんが育てているもの。5月21日には菜の花を観て撮って楽しむイベント「菜の花観写祭9」が開催され、当日は約50人のお客さまが、ゲストの送橋神明こぶし太鼓の演奏とともに満開の花畑を楽しみました。

町長歳時記 (131)

「仕事をする」ということ

～人は仕事を通じて

成長していくものである～

皆さんも聞いたことがあるかも知れません。古代エジプトを舞台にした有名な寓話です。

額に汗して巨石を運んでいる3人に、通りがかった旅人が質問をしました。「あなたは今何をしているのですか」と尋ねたところ、初めの1人は「見ればわかるだろう。私はこの石を運んでいるだけだ」と答え、次の人は「あのピラミッドを造るため、石を運んでいる」と答えたそうです。そして3番目の人に尋ねたところ「私はエジプト文明の歴史を築いているのです」と誇らしげに答えたそうです。

まったく同じ仕事をしていても、こんなにも捉え方に違いが出てくるのはなぜだろうと考えてしまいます。

どんな仕事にも意味があります。その仕事の目的は何なのか。また目的達成の意義は何なのか。それぞれの視点により、捉える意味も大きく変わってきます。

この5月25日、商工会の通常総代会がありました。その席上、勤続満30年の方々など30名に、町長さらには商工会長から永年勤続優良従業員表彰が手渡されました。日々努力を惜しまず真面目で誠実な仕事への取り組みが、昨日よりは今日、今日よりは明日と、着実な技術の向上と熟練者としての成長につながってきたのではないのでしょうか。そうした永年の努力の積み重ねが、社業はもちろん、地域産業の発展、さらには社会への貢献に大きくつながっていると実感させていただきました。

「人は仕事を通じて成長していくものです。自らの心を高め、心を豊かにするために、精いっぱい仕事に打ち込む。それによって、よりいっそう自分の人生をすばらしいものにしていけるのです」という、京セラ創業者である稲盛和夫氏の言葉が、深く心に沁みこんでくるのでした。

朝日町長 鈴木浩孝



やってみよう！ 基本の“あくぬき”

▶たけのこ（孟宗竹）

用意するもの：米ぬか
分量の目安：たけのこ1kgに対して
米ぬか1カップ程度
(水量は、たけのこ全体が水に浸かる
程度)

1) 準備

たけのこの皮をむきます。
たけのこの先端5分の1程度を斜
めに切り落とし、1～2センチの
深さで縦に包丁を入れます。
白い身の部分が見えるところま
でむき、根の固い部分を残して、
大きめのぶつ切りにします。

※食べられる部分の見分け方は、包丁
が入るかどうかを目安にします。



2) あくぬき

なべにたけのこを入れ、全体が浸
かるくらいの水を張ります。米ぬ
かを入れ、落とし蓋をして火にかけ
ます。沸騰したら火を弱め、ぐつ
ぐつと30分～1時間程度煮ます。



3) 完了！

竹ぐしが刺さるほど柔らかくなっ
たら、なべに入れたままの状態
で冷まして完了です。米ぬかを洗い
流して食べましょう。



▶わらび

用意するもの：木灰または重曹
分量の目安：木灰→ワラビ1kg
に対して水2ℓ、灰を一握り
重曹→ワラビ1kgに対して水2
ℓ、重曹小さじ1杯程度



1) 準備

なべに湯を沸かします。湯量とな
べの大きさは、わらびがすっぽり
入りきることが目安。わらびの頭
の部分を切り落しておきます。



2) あくぬき

湯が沸騰したら火を止め、灰また
は重曹を入れます。わらびをひた
し、何度か返して全体に行き渡ら
せま。浮かないように落とし蓋や
重しをして、一昼夜放置します。



3) すすぎ

水が濁っていれば（右写真）、あく
が抜けている証拠。何度か水を替
えてすすぎ、苦みが残っているよ
うなら、しばらく水にさらします。



4) 完了！

色もきれいにできました。火も
通っているので、このまま食べ
られます。



▲食べ頃のわらび。採取する際は根本を持ち、
手を傾けると柔らかい部分から自然に折れます

※採取はマナーを守り、栽培地や私有地に立ち
入ることのないように十分お気を付けください

山菜ミニ知識【わらび】 朝日町での旬…4月～6月

日当たりの良い原野や林床などに群
生。30センチほどに成長した若芽を
採取します。シャキシャキとした歯ご
たえとぬめりが特徴で、クセも少なく
美味しい山菜です。

また、栄養価としては、皮膚や血管
の老化を防ぎ、免疫力を高めるとい
われるビタミンEを豊富に含みます。

生では毒性が強いため、あくぬきが
必要です。ただし塩漬や天日干しを
すれば、あくぬき無しでも食べられ
ようになります。干したわらびは、戻
すとまるでゼンマイのようにふくら
とした食感になります。

おひたしのほか、天ぷらや煮物、漬
け物などでいただきます。

春を彩る里山の食卓
中山間地に位置し、豊かな里山に囲
まれた朝日町では、季節によって様々
な種類の山菜が採れます。特に、春
先から初夏にかけては収穫のピーク。
わらびやクサソテツ（ごごみ）、たけ
のこにフキ、ふきのとうなど、食卓を
彩る山菜料理に春を感じるとい方も
多いのではないでしょうか。

これら季節の山菜の知識や調理法は、
家庭や近所付き合い、その会話の中
で自然と受け継がれてきたものがほ
んどです。しかし、家庭環境の変化や
地域コミュニティの減少などにより、そ
の継承も難しくなっています。

山菜の魅力に触れてみよう
特に若い世代では「山菜をいただい
ただけ調理法がわからない」「教わる
人がいない」という悩みも多いはず。
そこで今号では、山菜のあくぬきなど、
調理の基本を改めて町のお母さんに教
えていただきます。また、これからの
季節にぜひ挑戦したい郷土料理「笹巻
き」作りを学びます。

里山ならではの山の恵みのごちそう
料理、家族で作ってみませんか。

※紹介するレシピの分量は、あえて正確ではあ
りません。ご家庭の好みで調節してください。

特集 地域の食と郷土料理を学ぶ

山の恵みを いただきます！



昔ながらのおやつ
笹巻きの作り方も！

春になると、畑やスーパーの売り場、いただきものなどで、目にしない日はない季節の山菜。「どんな味かな？」と気にはなっても、調理法がわからないから諦めたという経験、ありませんか。

若い世代は特に、学ぶ機会の少なくなった山菜料理。今更聞き辛いその基本を、町のお母さんに聞いてみました。やってみると意外と簡単？「おふくろの味」にぜひチャレンジしてみてください。

講師の紹介

松田 操さん（栄町）

昨年実施の第17回山形ふるさとCM大賞（主催：山形テレビ）で、特別賞「ほのぼの賞」を受賞した朝日町のCM「りんごと暮らす町」。その本編中でも、やさしいおばあちゃん役を務めてくれました（右写真）。

「笹巻きなんかは、お嫁にきてからお姑さんにおし
えてもらったんだ」と笑う松田さん。自家製
こんにゃく作りも名人級と評判のお料理上手です。

まんず
りんごでもけえ！



親子で一緒に！「笹巻き」もついでにみよう



★「おどご巻き」と、「おなご巻き」、2種類の巻き方にチャレンジ

材料：(約40個) もち米…一升(10合)、笹の葉…「おどご巻き」は1個に2枚・「おなご巻き」は1個に3枚、イグサ紐(結い紐)…40本、きな粉・砂糖・塩…適量

※笹の葉は幅5～6センチ、長さ25～7センチくらいが理想
※イグサ紐は今の時期なら町内スーパーなどで手に入ります

1) 準備

もち米をといで1晩水につけておきます。笹の葉は水洗いし、先端1センチほどを切り落とします。イグサ紐を湯にひたし、やわらかくしておきます。

2) お米をつめる

笹を裏返して2枚重ね、利き手の方が先端側になるように持ちます。笹のツルツルした面を上にして両端を内側に巻き込むように折り込みます(①～②)。この時利き手側の笹を上に乗ねます。三角の袋のようになった部分に8分目くらいまでもち米をつめます(③)。笹がバラけないように押さえながら、上部をフタのようにかぶせます(④)。



3- 1) おどご巻き

2) の状態からフタをした部分を結びます。イグサ紐の先を口にくわえ、笹巻きのフタの周りをぐるぐると2周巻きます。巻いた紐の下に紐をくぐらせ、最後に片結びで留めます(①～③)。



3- 2) おなご巻き

2) の状態のフタの上から、もう1枚笹を巻きます。三角のフタに沿って笹を巻き、おにぎりのような形にします(①～③)。イグサ紐を口にくわえ、巻いた笹がとれないように紐で周りをぐるぐると押さえるように3周ほど巻き、中央で片結びします。



4) 茹でる

笹巻きをなべに並べ、全体にかぶるくらいの水と、塩を少々ふり、蓋をして火にかけます。沸騰してから20～30分ほどぐつぐつと煮ます。煮えたら湯を捨て、ざるやなべに移してそのまま蒸らします。(湯を捨てずにそのまま蒸らしてもいいです。その場合は餅のような柔らかい食感になります)



5) 食べ方

きな粉に砂糖と塩をお好みで混ぜ、それにつけていただきます。

※常温で2～3日持ちます
※余った笹は、軽く湯通ししてから冷凍保存できます。使う時はぬるま湯で戻します



あくぬき不要！1年中食べられる保存食

【塩漬けわらびの作り方】

漬け樽の底が白くなるくらい塩をふり、生のわらびを並べます。全体を塩で蓋をするようにしながら重ねていきます。落とし蓋をして重しをのせます。時間が立つと水が出てくるので水を捨て、さらに塩をまぶし、冷暗所で保存します。

※常温で半年～1年間保存可能です。食べるときは一度茹でて冷まし、数度水を替えながら塩抜きします。



“おふくろの味” 山菜料理にチャレンジ

★たけのこの煮物(味噌あじ)

いつもの煮物も味噌あじだとまた違ったおいしさ。肉を一度こんがり焼いてから煮るのがポイントです。

材料：あくぬきしたたけのこ…適量、とりもも肉(豚肉でも可)…1枚、しいたけ(他のきのこでも可)…6枚、木の芽(なくても可)…少々、だしの素・味噌・みりん・砂糖・サラダ油…それぞれ適量

1) 準備

たけのこ、とりもも肉、しいたけを一口大に切ります。フライパンに油を引き、もも肉を皮目からキツネ色になるまでこんがり焼きます。



2) 味付け～煮込み

とりもも肉をいためた油ごとなべに移します。しいたけとたけのこを入れ、なべ底全体に広がる程度の水を加えます。だしの素、味噌、みりん、砂糖で味付けをし(煮込むので少し薄めに)、火にかけます。沸騰したら火を弱め、30分程度煮込みます。火を止めて冷まし、味を染みこませます。



3) 盛り付け

器に盛り付け、木の芽(さんしょうの若芽)を手の平で叩いて散らせば完成です。



★わらびアレンジ3点盛り

おつまみや箸休めに最適な簡単アレンジ3種を紹介。

材料：あくぬきしたわらび…それぞれ適量

- ①わらびの醤油漬け(醤油またはめんつゆ、生姜、砂糖)
- ②わらびの天ぷら(天ぷら粉、ゴマ、塩、揚げ油)
- ③わらびの中華風和えもの(にんじん、生姜、くるみまたはゴマ、醤油またはめんつゆ、ごま油、一味唐辛子)

①わらびの醤油漬け

あくぬきしたわらびを半分の長さ(1本のままでもOK)、生姜は短い千切りにして、保存用のポリ袋に入れます。お好みで醤油(めんつゆ)、砂糖で味付けします。袋のまま軽く揉み込んだら袋の空気を抜き、わらび全体が液に浸かった状態で冷蔵保存します。2～3時間で食べ頃になり、2日程度日持ちします。



②わらびの天ぷら

あくぬきしたわらびを半分～3分の1の長さに切ります。天ぷら粉を水で溶き、お好みでゴマと塩を入れます(A)。フライパンに油を注ぎ、180度に熱します。軽く粉を振ったわらびを(A)の液にくぐらせ、数本ずつまとめて1分程度サッと揚げたら完成です。塩や醤油でいただきます。



③わらびの中華風和えもの

わらびは一口大、にんじん、生姜は短い千切りにします。くるみ(ゴマ)は炒って砕いておきます。和えタレとして醤油(めんつゆ)とごま油を2：1の割合で混ぜ、一味唐辛子を振ります。全ての材料をボウルに入れ、混ぜ合わせます。和えてすぐでも食べられますが、少し時間を置くと味がなじんでおいしくなります。



完成！

※(写真左から)醤油漬け、天ぷら、中華風和えもの



やまがた絆の森プロジェクト「ニッサンの森」(白倉) 開山式

■農林振興課 事業係 ☎67-2114



▲「ニッサンの森」入り口の看板前で記念撮影
◀(上) 班ごとに分かれて森の下刈り作業
(下)「森のホームステイ」として、ミズナラの苗を持ち帰り、数年後に森へと返す取り組み



豊かな森林の保全と活用を通して、企業と地域との絆を深める県の事業「やまがた絆の森プロジェクト」。町は今年3月、山形日産自動車株式会社および日産プリンス山形販売株式会社(小関眞一代表取締役)と、絆の森協定を締結しました。

Asahi自然観とその周辺地を「ニッサンの森」とし、5カ年に渡り森づくり等の活動で協力する協定。その開山式が6月5日、Asahi自然観で行われ、同社社員とその家族など、約140人が参加しました。

開山式では、はじめに同社の小関代表取締役が「当社ロゴマークは太陽(「朝日」)が由来であり、朝日町には深い縁を感じる。また、この土地のすばらしい自然と空気に感謝し、地域とともに生きる企業としてCO2の削減など環境保全に努め、森づくりに励んでいきたい」とあいさつ。その後、同地に設置した記念看板の除幕式が行われました。

続いて第1回目の森づくり活動では、歩道整備と下刈り作業に汗を流したほか、苗木づくりを実施。今年度は、同様の活動を森林学習や地域交流なども含めて計3回予定しています。

朝日中学校1年生「朝日探求の日」町歩きで地域の皆さんに学ぶ

5月18日、「朝日探求の日」として朝日中学校の1年生47人が町内の施設や史跡を巡り、現地の有識者などにお話を聞きました。

総合的な学習の時間で「朝日町を知る」をテーマに取り組んできた探求型学習の一環、町の歴史・人・りんごを通して、その魅力の再発見や自分とのかかわりについて考えながら、地域とのつながりを深めます。

今回は、言特別養護老人ホーム和合荘、道の駅あさひまち「りんごの森」、若宮寺(ハツ沼、旧三井分校、榎平の棚田、朝日果実流通センター、薬師如来立像(新道)の7カ所を巡り、地域の方々にお話をうかがったほか、和合荘や道の駅あさひまち、榎平の棚田では合唱を披露。菅井美聡さん(沼向)は、「道の駅は何度も訪れているけど、トイレや屋根の形の工夫など、話を聞いて初めて知る驚きがあった」と語り、熱心にメモを取っていました。



▲県指定有形文化財である旧三井分校を訪問
◀榎平の棚田が一望できる一本松公園。環境保全の取り組みについて学び、校歌を合唱

朝日町しごととサポート連携協議会「しごと相談窓口」を開設しました

■総合産業課 商工振興係 ☎67-2113

町内の求人募集や、創業および就農に関する相談を受け付ける総合窓口として、町総合産業課内に「しごと相談窓口」が開設されました。

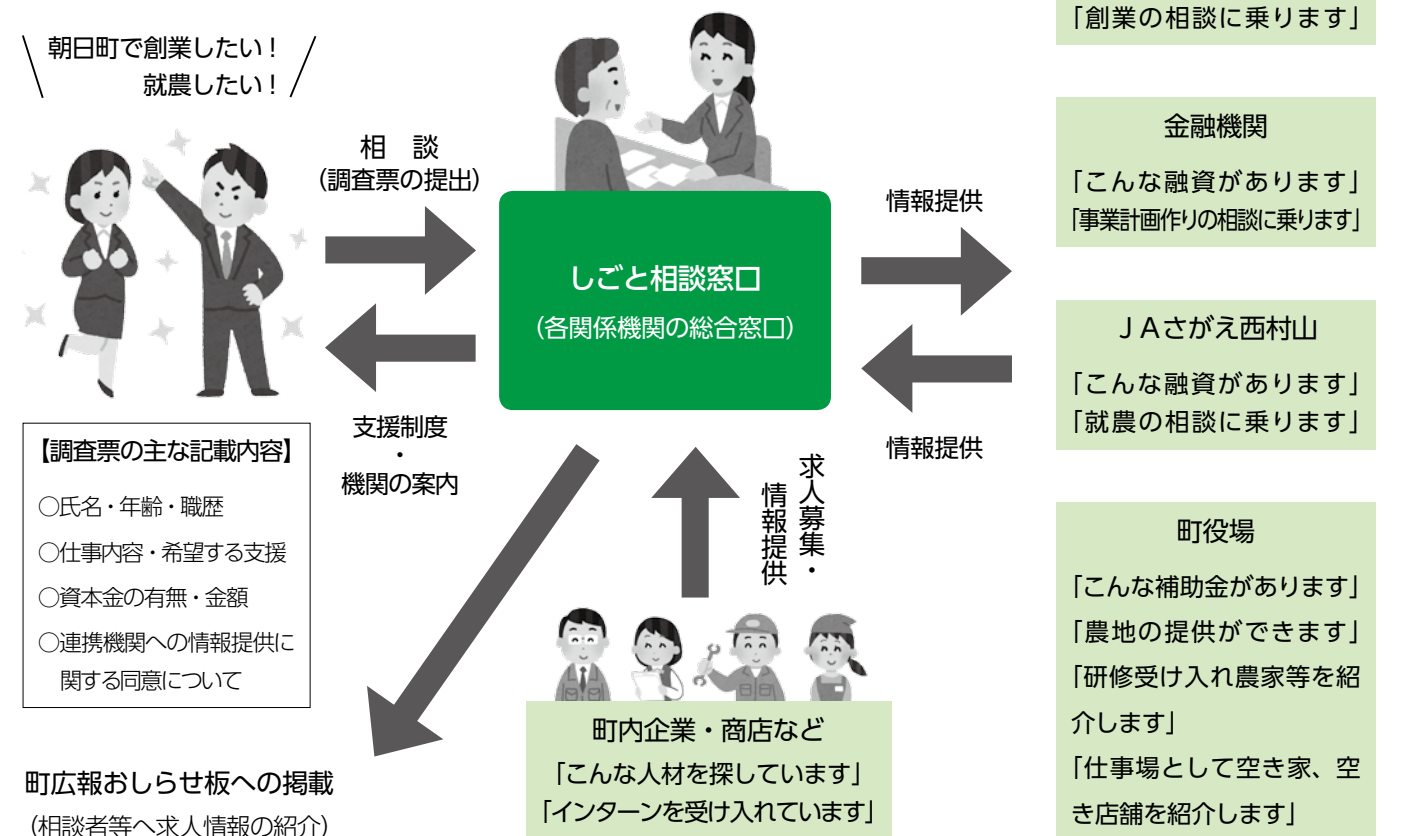
町と町商工会、JAさがえ西村山、寒河江公共職業安定所、町内金融機関などで組織する「町しごとサポート連携協議会」による開設。町内での就労促進と雇用の確保、地域産業の振興と発展を目的とし、各関係機関の相談窓口を一元化することで、情報や支援内容を一括して提供できるようにします。

「町企業からの『求人応募が少ない』という声や、創業・就農希望者からの『どこでどんな支援が受けられるのかわからない』という声から、今回の窓口開設となりました。町と関係機関が連携して積極的な情報提供と発信、支援を行い、新たな産業の創出や、農業・工業の振興を図っていきます」と総合産業課の鈴木俊治課長。

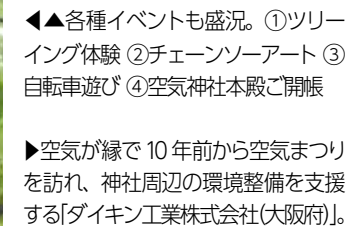
相談は常時(平日午前8時30分〜午後5時15分)受け付けています。ぜひご利用ください。

「しごと相談窓口」の役割

- ①各関係機関の持つ支援策などの情報を事前に集約します
- ②町での創業・就農についての相談を受け付け、一括して情報提供します
- ③町内企業や商店、農家などの求人情報を受け付け、町広報への掲載など、求職者等へ広く情報発信します



▶町しごとサポート連携協議会事務局(総合産業課内) ☎67-2113 FAX: 67-2117 Mail: shoko@town.asahi.yamagata.jp



▲▲まつりのメインイベントである「みこの舞」。毎年これを目当てに多くの人が足を運ぶ。今年も宮宿小（和合地区）の4～6年生の女子児童7人が、神社に奉納する優美な舞を披露した



◀▲各種イベントも盛況。①ツリーイング体験 ②チェーンソーアート ③自転車遊び ④空気神社本殿ご開帳
▶空気が縁で10年前から空気まつりを訪れ、神社周辺の環境整備を支援する「ダイキン工業株式会社(大阪府)」。今年も特別ブースで展示会を開催

空気の恩恵に感謝

空気まつり (6/3～5)

「空気」や「自然」にちなんだ多くの関連事業を実施。年に一度、地下にある空気神社の本殿が一般公開されるほか、5m四方のステンレスでできた神殿上で「みこの舞」が披露されます。

今年は時折雨のぱらつく天候ながら、多くの来場者で賑わい、3日間で約2,500人が会場のAsahi自然観を訪れました。



6月5日（世界環境デー）の「朝日町空気の日」にちなみ、町は町議会6月定例会を「空気に感謝する議会」としています。

6月2日から7日にかけて開催された6月議会定例会では、2日の本会議の開会前、空気に感謝する姿勢を示した（両手を上げて天を仰ぎ深呼吸）ほか、議員、町執行部ともに空気神社のネックストラップを着用。机上には町の木「ブナ」の幼木を置き、町をあげて空気に感謝し、自然環境を大切にす姿勢を発信しています。



町議会6月定例会は「空気に感謝する議会」

6月5日は朝日町 空気の日

「空気の恩恵を人間は忘れている。世界に先駆けてわが町に空気神社を造ろう」――。

故白川千代雄氏（松程）が提唱したのは、昭和48年のことでした。その後、自然崇敬の高まりを願い、昭和63年に「空気神社建立奉賛会（故菅井敏夫会長）」が創設され、平成2年、世界に類例のない環境モニュメント「空気神社」が白倉に完成しました。

町は平成4年3月、世界環境デーの6月5日を条例で「朝日町空気の日」に制定。6月上旬の「空気まつり」や各種取り組みを通じて、空気大切さをよびかけるとともに、自然豊かな町を広く発信しています。





5/14 町の古民家で昔話と四季の庭を楽しむ 古民家カフェ「すんたく」オープン

民話や昔ながらの暮らしを発信することで町おこしをする「星の会」(成原千枝代表)主催のカフェが5月14日にオープンしました。前田沢地区にある古民家「新宅(すんたく)今井家」。同会では、平成27年度よりこれを借り受けて「宿のやかた」としました。ここを活動拠点として、月1回程度でイベントを開催しています。

古民家カフェ「すんたく」は今年11月までの毎月(8月を除く)第2日曜日にオープン。四季折々の庭に囲まれた古民家で、町に伝わる昔話と抹茶などを楽しむことができます。



▶当日のスタジアムは、モンテサポーターでいっぱい

5/21 両者譲らぬ試合展開に町民サポーターも興奮 モンテディオ山形朝日町民応援デー

朝日町民応援デーに指定されたモンテディオ山形のホームゲーム、レノファ山口戦が5月21日、NDソフトスタジアム山形で行われました。鈴木町長のほか、小林教育長、「モンテディオあさひ応援隊」のメンバー等が選手に特産のワインとりんごジュースを贈り激励。また、桃色ウサヒとモンテディオ山形のマスコット「ディーオ」と共に、町のPRを行いました。試合は交互に点を取り合う白熱した展開。同点で迎えたラストプレー、モンテディオ山形が1点を決め、3-2で逆転勝利。観客も大興奮の1日でした。

5/28 町内外から若者が集まるカーミーティング サマーオブザフック 2017

町へ若者を呼び込む新たな町おこしとして企画されたカーミーティング「サマーオブザフック2017」が5月28日、Asahi自然観駐車場で開催されました。齋藤隆さん(本町)が主催し、同級生などの仲間と運営。4年目となる今年は約140台のエントリーがあり、遠方では千葉県や青森県からの参加もありました。こだわりの車がずらりと並ぶ圧巻の景色をひと目見ようと、会場は町内外から500人を超える来場者で賑わっていました。

6/3 棚田の景観を守る美化活動と手づくりの昼食会 ヒメサユリまつり

6月3日、榎平の棚田で、空気まつり協賛事業「ヒメサユリまつり」と榎平棚田保全会(志藤勝幸会長)の美化活動が行われました。12回目となる今年も、区民と町内外の協力者(保全会員)約35人が一本松公園と第2展望台の草刈りを実施。その後の昼食会には、一般の方も含め約100人が参加しました。

当日は棚田ママの会の皆さんが調理した棚田米のおにぎりに笹巻、地元産の山菜汁や手作りの漬け物などがふるまわれ、美しい景観とともに参加者を楽しませていました。



◀棚田の維持と景観を守る保全会活動。草刈りの様子

ホームページに写真



5/16 小学5・6年生が自己ベストに挑み奮闘 町小学校陸上競技記録会

5年男子	1位	記録	2位	3位
100m	鈴木明空(大)	15秒7	滝川 壮(宮)	海藤 珀(西)
70mH	滝川 壮(宮)	13秒2	鈴木明空(大)	海藤 珀(西)
1000m	海藤 珀(西)	3分36秒8	堀 龍空(宮)	三上來貴(宮)
走幅跳	鈴木明空(大)	3m57cm	長岡丈裕(西)	千葉寛明(宮)
走高跳	滝川 壮(宮)	1m11cm	佐藤涼介(大)	松尾康太(宮)

5年女子	1位	記録	2位	3位
100m	峯田結羽(宮)	16秒4	設楽みらい(宮)	小松萌姫(西)
70mH	小松萌姫(西)	13秒4	設楽みらい(宮)	小嶋愛桜(大)
800m	峯田結羽(宮)	2分47秒8	大竹 紬(宮)	堀 光姫(大)
走幅跳	設楽みらい(宮)	3m10cm	白田依音(大)	遠藤香春(大)
走高跳	佐竹紫音(宮)	1m03cm	熊谷美菜(宮)	小嶋愛桜(大)

6年男子	1位	記録	2位	3位
100m	志藤大地(大)	14秒4	阿部大翔(西)	阿部秀飛(宮)
70mH	志藤大地(大)	11秒5(大会新)	本間樹真(大)	阿部大翔(西)
1000m	阿部大翔(西)	3分43秒3	鈴木凜太(大)	阿部凌太(宮)
走幅跳	志藤大地(大)	3m92cm	阿部奏翔(宮)	阿部秀飛(宮)
走高跳	柏倉 和(西)	1m10cm	細谷慶太郎(宮)	布施珀斗(宮)

6年女子	1位	記録	2位	3位
100m	長岡桃子(宮)	15秒4	布施琴音(宮)堀美鈴(宮)	
70mH	堀 美鈴(宮)	13秒0	長岡桃子(宮)渡邊紗代(宮)	
800m	布施琴音(宮)	2分48秒3	早坂優希(大)	阿部桃花(宮)
走幅跳	伊藤穂乃花(西)	3m02cm	長岡萌美(西)	海野花歩(宮)
走高跳	長岡桃子(宮)	1m08cm	渡邊紗代(宮)	大沼愛華(宮)若月保歩(西)

400mリレー	1位	記録	2位	3位
男子	大谷A	1分3秒5	宮宿A	西五百川A
	(大谷Aチーム選手	鈴木凜太・志藤大地・鈴木明空・本間樹真)		
女子	宮宿A	1分3秒(大会新)	宮宿B	大谷A
	(宮宿Aチーム選手	長岡桃子・渡邊紗代・堀美鈴・大沼愛華)		



西五百川小グラウンドを会場に、町内3小学校の5・6年生101人が出場。必須種目の100m走、70mハードルのほか、走り幅跳び、走り高跳び、持久走(男子…1000m、女子…800m)の3種目の中から1種目にエントリーし、自己ベストを目指して奮闘しました。

6年男子70mハードルと女子400mリレーでは大会新記録が更新されました。記録更新を果たした志藤大地さん(栗木沢)と宮宿女子Aチームには特別なメダルが贈られました。



みんなで 朝日町の「将来のビジョン」を考えよう！

みんなでチャレンジ 笑顔でめんごいまち



▶このカードに、皆さんの「願い」を書いてもらいました。そこで出たキーワードと、キャッチフレーズの一部を紹介します

新しいモノ、コトへのチャレンジ精神／お互い認め合える／みんなが町のことを考える／忙しいけど充実してる／朝日町で生まれたことを誇れる／日本一のりんごがある／良いブドウをつくる／おもしろい店がある／めんごいじいちゃん、ばあちゃんがいる／子どもとお年寄りが仲良く交流 など

現状でちょうどいい／ありのままの町を認める／今の暮らしを楽しく／老いても楽しく／役割、仕事があって楽しく生活／高齢者が元気／景観、風景が維持できている／農作業の風景／集落づくりが維持できる／きれいな自然が続く／今あるものを大事にする／物でなく心の充足 など

ありのままでいいの～♪



いつまでも、元気で笑って やさしく 一生現役



健康で長生き／元気に活力ある笑顔な町／共助・自助／子どもも老人も町の宝／老いても楽しく／男性の高齢者が集える場所／趣味、地域活動／ゆとりと安心／若い人に希望を与える／安心安全／健康寿命を延ばす／福祉が充実／買い物、通院しやすく／交通の便の改善／教育に関わる費用の減／自信をもっていい町だと思えるまち など

人と人とのつながり／仕事以外のつながり／町民は何かのプロフェッショナル／困りごとの解決／地域の支え合い／除雪の助け合い／子育て世代が過ごしやすい／若い人が意見が言える／助け合える近所づきあい／みんなの居場所がある／お互いを尊敬できる／いろんな年代の交流 など

LOVE ループ ～愛のサイクル～



◆参加者の声（アンケートより一部抜粋）

▶いろんな人の「10年後の朝日町」が聞けて良かった

▶ワークショップがただの意見交換でなく、出た意見が実現することを期待しています

▶2回目で共感できるキーワードが出てきて、目標となる姿が少しずつ見えてきたのかなーと思いました

▶何とでも、どうしても取れるありふれた言葉ではなく、自分たちの言葉でセンス良くキャッチコピーを作っていて、すごいなーと思いました

◆ワークを終えて…【講評】



これから生まれてくる子どもたちや、ここに来ていない人たちの視点で発表してくれた班もあり、皆さんが心に抱いている公共心も見えて取れて、とても勇気づけられるワークショップでした。

醍醐 孝典 氏 町民ワークショップアドバイザー（東北芸術工科大学 コミュニティデザイン学科准教授）

朝日町はお互い支え合うことが当たり前で、誰もが何かのプロフェッショナル。仕事以外でもつながり、知り合いになれば解決できるという公助・共助の中で何とかしようという思いがあることは、大変すばらしいと思いました。



町民ワークショップアドバイザー（東北芸術工科大学 コミュニティデザイン学科准教授） 岡崎 エミ 氏

▶次回予告：次号は、第3回【5月23日：チーム（テーマ）ごとの大切なコンセプトを考えよう】の様子をレポートします。

10年後の朝日町って、どだなだ？



町民みんなで、これからの幸せをともに考える

6 総策定町民ワークショップ ふりかえり新聞

2

【第2回】

日 時：平成 29 年 4 月 24 日（月） 午後 7 時～9 時 10 分

場 所：開発センター 2 階 ホール

参加者：一般町民 40 名、町職員 40 名 計 80 名

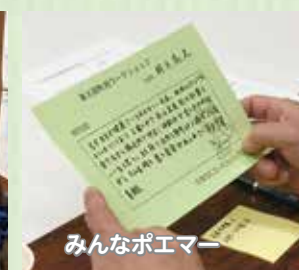
PLAYBACK ワークショップ ～当日は、こんなことをやりました～

町では、平成 30 年度から 39 年度までの 10 年間のまちづくりの指標となる「第 6 次町総合発展計画」策定に向け、「町民ワークショップ」を開催しています。

第 2 回のワークテーマは「10 年後の朝日町」について。当日はまず、まちづくり総合アドバイザーである佐藤恒平氏による第 1 回のふりかえりの後、町民ワークショップアドバイザーである東北芸術工科大学准教授の醍醐孝典氏から「ビジョンを考えるうえで大切なこと」について説明がありました。

ワークでは、5～6 人ずつ 15 班のグループ毎に、自己紹介とハイタッチゲームで緊張をほぐした後、「10 年後の朝日町が〇〇なまちになっているといいなあ」という願いを、1 人 1 人ができるだけ具体的にカードに書き込んできました。

お互いの想いを発表、交換し合い、それぞれに共通するキーワードを選び出してから、理想の町の「キャッチフレーズ」としてまとめました。最後に、代表して 5 つの班から発表してもらいました。





こんにちは。ウサビの中の人、佐藤です。今年度はウサビやゲストハウスの運営と並ぶ大きな仕事として、町の総合発展計画を考える町民参加型のワークショップで、司会進行役を担当しています。3月から6カ月間で全6回。当日だけの司会のお仕事かと思いきや、その回ごとに担当職員さんや大学の先生を交えた進行計画を打合せ、スライドの準備や前回のふりかえり新聞の作成と、様々な仕事があるのだと実感しました。実際の会議は2時間だけです。しかし、様々な意見が出るような工夫や、内容が活かされるための情報共有など、下準備の大



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「おいでませ、6総策定町民ワークショップ」

まちづくり総合アドバイザー 佐藤 恒平（福島県出身）



切さが身に沁みました。町が次の「第6次総合発展計画」策定にここまで力を入れるのは、この計画が向こう10年間の町行政の針路を決める「最上位」計画だからです。僕が町で行っている多くの仕事も、現行の第5次総合発展計画の内容に則して行われています。この計画があるからウサビを使ったPRも、古民家を使ったゲストハウスづくりも実行できるのです。つまり、ここでの話し合い次第で僕の未来の仕事も決まるわけで、大変ドキドキしています。町民ワークショップは直近で6月26日（午後7時〜開発センター）に第4回目が行われます。町民であれば参加はどなたでも自由です。これを逃すとあと10年は最上位計画に携わるチャンスは巡ってきません。こんなことがしたい、町がこうなればいい...その想いを、ワークショップに参加してぜひお話ししてください。「こんなこと言ったら否定されないかな」という心配は無用です。なぜならこのワークショップでは、「できない」と否定しないでできる条件を探そう」を大切な合言葉にしているからです。



自分に合った運動を見つけよう！ 定期的に体を動かし 健康度をアップしましょう



今月の担当...木村 朋恵 地域包括支援センター係長



椅子に座ったままできるストレッチの指導

新緑が鮮やかな季節となり、過ごしやすい時期になりました。皆さんは、週2回30分程度の定期的な運動を行っていますか。町の調査によると、定期的な運動をしている方の割合は約2割（きらくらあさひ健康プラン21調査）という結果でした。健康維持増進のためには、運動習慣を持つことが大切ですが、なかなか取り組めないという方も多いようです。町では、まちづくり事業で提携を結ぶミズノ株式会社と共同で、ウォーキングポールを使った教室を実施しています。今年は、室内でもできる「くらくポール教室」を、前田沢地区で始めました。3カ月間継続して、ポールを使ったストレッチ

レッチ体操などを行います。椅子に座って行うので、高齢の方など、長い距離を歩くには不安があるという方も体力に合わせて参加できます。お天気をみて外を歩くことも、会話をしながら行うています。参加された方は、「いつも使っていない筋肉を意識している運動になった」「仲間と一緒に運動も楽しい」と話し、いきいきと活動しています。ウォーキングなど手軽な運動も、家族や仲間と一緒にできると、より楽しみながら継続しやすいのかもしれない。健康増進のための「フルディックウォーキング教室」も定期的に実施していますので、興味のある方は、健康福祉課までご連絡ください。皆さんも自分のペースで楽しみながらできる運動を見つけて、運動習慣を身につけましょう。

▼問合せ先
健康福祉課
地域包括支援センター係
☎67・2156



町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【おすすめの季節】5月末〜6月初旬、10〜11月

第2回 一本松公園（能中）

【DATA】国道287号線沿い四ノ沢交差点から西の町道に入り、八天橋・元能中を経て2.4km、散策所要時間 約30分

能中集落の北側、町道に接する駐車場から高台までの散策路脇に、能中地区が保存に取り組んでいる町の花「ヒメサユリ」（5月末〜6月初めにかけ、淡いピンク色の花が咲く）の群落があります。

高台にはシンボルである一本松や四阿（あずまや）、遊具があり、眼下には樺平の棚田や朝日町の中心部、最上川、遠くには朝日連峰・月山・葉山・白鷹山を眺めることができます。

一本松公園は明治34（1901）年、昭和天皇のご生誕を記念して、能中村の山林を整備したもの。村民憩いの場として、当時は運動会や少年相撲大会をしていたのだよ。ヒメサユリは、かつては一部に自生していたんだけど、だんだん見られなくなってきたので、能中地区の皆さんが平成17年から植栽を始め、毎年6月の始めには見頃を楽しむ「ヒメサユリまつり」が行われているんだ。

案内人の
つぶやき



町立図書館新刊案内

『姥捨て山 繁盛記』 太田 俊明 著
『大人の里山さんぽ図鑑』 おくやま ひさし 著

中断したダム建設計画の補償金で「シニアの郷」計画が進む山梨県北部の過疎の村。初期の認知症で早期退職した59歳の男が「郷」に移り住んだ。男が水没予定地を訪ねてみると、理想郷のような風景が広がっていた。第8回日経小説大賞受賞作。

『その他の新刊』
▼暗手／馳星周
▼ライオン・ブルー／呉勝浩
▼みみずくは黄昏に飛びた／村上春樹
▼最愛の子／松浦理英子
▼ある口づからPTA／杉江松恋
▼国会を考える／大石眞
▼ちやうと今から仕事やめてくる／北川恵海
▼この嘘がばれないうちに／川口俊和
▼学校へ行けなかった私が「あの花」「こさけ」を書くまで／岡田麿里
▼無農薬でかんたん野菜づくり／NHK出版
▼野菜づくりに失敗しないための知恵／コッソリ主婦の友社
▼方角のコッソリ主婦の友社
▼又吉直樹
▼僕が殺した人と僕を殺した人／東山彰良
▼午前3時のサヨナラ／ゲーム／深水黎太郎
▼クックパッドのおいしい厳選レシピ／おきき弁当／クックパッド（株）
▼100歳まで元気であるためのパパと簡単！作りおき／村上桂子
▼女系の教科書／藤田宜永 ほか

【ブックテーマコーナー】
「育てて楽しむ！ハーブと花&家庭菜園」

フキノトウにはオスとメスがある!? 当地タンポポってなに？ トンボは高い所が好き？ 里山で見られる植物・生き物を、季節ごとに写真やイラストで楽しく解説する。

戸籍のまど

Asahi town

5月1日～5月31日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷二	白 田 新 奈	女	哲也・美幸

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
栗木沢	遠 藤 勝 雄	勝
八ツ沼	佐 竹 千代雄	美千善
本 町	多 田 和 子	清 一
西 町	笹 原 文 義	本 人
大谷二	白 田 和 夫	久 雄
新 宿	今 井 と じ	義 人
前田沢	鈴 木 小夜子	光 幸

Population

人口と世帯数

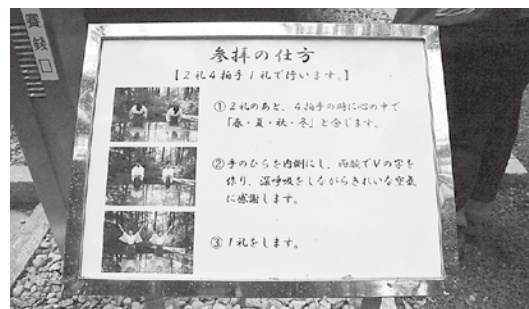
●平成29年 5月31日 現在
※（ ）内は先月比

人 口	7,154 人（－15）
男	3,535 人（－10）
女	3,619 人（－5）
世帯数	2,469 世帯（ 0）

----- 5月中の異動 -----

出生	1人	転入	10人
死亡	10人	転出	16人

（※外国人を含む）



空気神社に「参拝の仕方」の看板

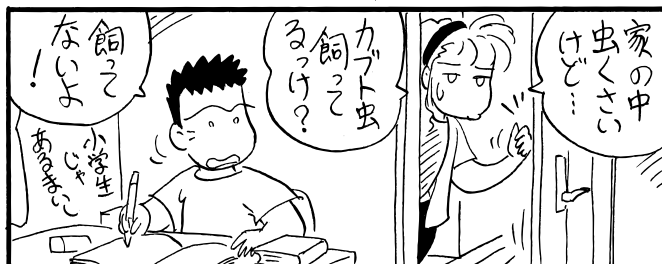
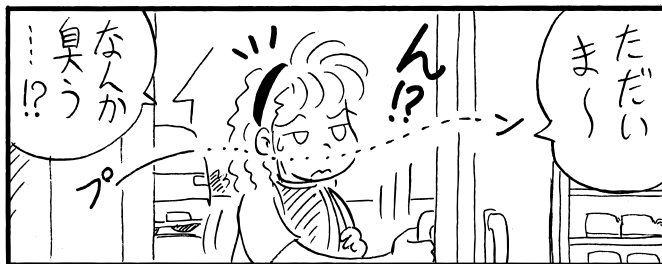
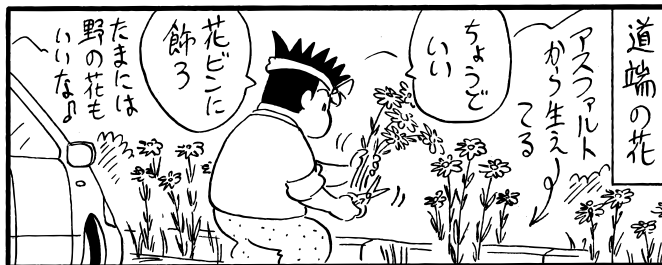
この度、空気神社のステンレス板前に「参拝の仕方」の看板が立ったほか、神社周辺と参道に休憩用ベンチが2基ずつ、合計4基設置されました。

町で設置し、経費の一部に「空気」が縁で交流を深めている「ダイキン工業株式会社（大阪府）」からの寄付を充てています。この機会にぜひ足を運んでみてください。

とないのリンゴさん

(292)

ホリイ



町の主な行事・イベント

(6月16日～7月16日)

- 6月18日(日) 朝日連峰夏山びらき
24日(土) 町長杯争奪剣道錬成大会(小学生の部)
26日(月) 6総策定町民ワークショップ④
- 7月2日(日) きれいな川で住みよいふるさと運動
4日(火) 町小学校水泳記録会
15日(土) 町民プールオープン
16日(日) 大沼浮島 島まつり



昨年の様子:朝日連峰夏山びらき(左)、大沼浮島 島まつり(右)

みなさんからのおたよりなどで作るコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などをお寄せください。
無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

〒990-1442 朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係 ☎67-2112
メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

VOICE

町民の声



あさひまちミートマラソン

今年の開催は？

あ さひまちミートマラソン
について、今年度の開催
予定はあるのでしょうか。
ブランド化推進事業の中で
も、町への誘客手段として大変
有効な取り組みだと感じていま
した。また、ゴールとなるAs
ahi自然観や空気神社のPR
にも欠かせないイベントだと思
います。ぜひ、なくさずに続け
てください。

今 年度におけるあさひまち
ミートマラソンの開催に
ついては、これまでの大会を振
り返ったうえで内容等を見直し
10月21日(土)に開催すること
となりました。

主な改善点としては、より
多くの方から気軽に参加いた
けるよう「ウォーキング」部門を
新設します。その他Asahi自
然観を発着点とし、当大会ならで
はの特徴あるヒルクライム(山登り)



▲前回大会の様子

コースに加え、ダウンヒル(山下り)
コースを交えた内容となります。
また、大会概要や参加申し込
み方法等の詳細につきましては、
広報お知らせ板7月1日号でご
案内する予定です。
開催について町民の皆さまへの
周知が遅くなり、大変申し訳ござ
いませ。より多くの方々から参
加していただけるような魅力ある
マラソン大会となるよう一層努力
してまいりますので、今後とも応
援よろしく願っています。

【政策推進課ブランド推進係】

「自分を励ます絵手紙」第3集と「句集 ともしび」を出版

阿部良子さん(元町)



出版した2冊を手に、笑顔の阿部さん

水彩で描いた季節の草花や風景、生き物な
どの絵に「自分を励ます」言葉を添えた絵手
紙を描き続けて15年になるという阿部良子さ
ん(元町)。このたび自身の米寿祝いを兼ねて
作品集をまとめました。今回の作品集は、平
成19年に喜寿記念として出版した第1集、そ
の5年後にまとめた第2集に続く3集目。約
90頁に241枚の絵手紙が掲載されています。
「家に独りになってから始めた絵手紙は私
の生きがいになりました。感動したものをメ
モに書き留めて作品をつくり、また、それ
を見た方からあたたかい言葉をいただくこと
で日々の励みになっています」と笑顔で語る阿
部さん。今回は合わせて初の句集「ともしび」
も出版。こちらは12年ほど続けている川柳を
まとめた約130頁の作品集となっています。
ご紹介した2冊は町立図書館で読むこと
ができます。ぜひご覧ください。





白熱！西五百川すもう大会



6月3日、西五百川小学校で伝統のすもう大会が開催され、児童たちが熱戦を繰り広げました。

町ですもう大会が開催されているのは西五百川小学校のみ。毎年地元PTAの皆さんと先生方が指導にあたり、児童たちは毎日のように練習を繰り返して本番に挑みます。

競技は1・2年生、3・4年生、5・6年生の各部門で行われる「一本勝負」と「3人勝ち抜き戦」。全児童が東軍西軍に分かれ、勝ち星の数で点数を競います。

特に校庭備え付けの本土俵で行われる高学年の迫力ある取組みは大いに盛り上がり、相手に負けまいと歯を食いしばる様子に応援にも力が入ります。取組みの一番は5・6年男子幕下、三役同士の一本勝負。両陣営譲らぬ白熱の取組みを繰り広げ、今年激戦を制したのは西軍となりました。

優勝旗を手にした横綱が勝ちどきをあげると、児童たちはお互いの健闘をたたえあい、喜びの声をあげていました。

春夏秋冬 編集後記

春を告げる献立
あたたかい郷土料理

方は、これを見ただけで実践するのは難しいかもしれません。

「役に立たない」とお叱りの声が聞こえてきそうですが、そんな時には、周りを見回してみてください。おばあちゃんやおじいちゃん、ご近所の料理上手さん……。この記事よりもずっと詳しい方が、朝日町にはたくさんいらっしゃいます。また「何度も作って、失敗しながら覚えなだ」とは松田さんの言葉。ご家庭ごとの「おふくろの味」にぜひ挑戦してみませんか。村山 彩

山菜料理が食卓に並ぶと「ああ、春だなあ」と実感します。今号の特集は、丸ごと私事のような記事になってしまいました。山菜も笹巻きも食べるのは大好きですが、料理するのは初めて。「こーやって作るんだ」とメモを取りながらおいしくできた喜びとともにいただきました。改めて、丁寧にご教示くださった松田さんに感謝申し上げます。

編集するにあたって、工程ごとに多

めの写真を使ったりしましたが、調味

料の分量の目安や、特に笹巻きの作り